

## むさしの整体療術センター便り

2009年がスタートしました。今年初のむさしの整体療術センター便りは、少し残念なお知らせから開始します。

今年に入って来院された携帯メール会員の方や年会員の方にはお伝えしていますが、当療術センターが所属する東洋加圧セラピスト協会では、本年度より一部頸椎の矯正法(スラスト矯正)が禁止になりました。

その矯正法は、加圧セラピスト療法の手技の中では一般的に教えられている技術ではありますが、ある程度の熟練と正確な触診が出来ないと、大変危険な手技とされています。

私も生徒時代に練習でこの矯正を受けて2・3度首を痛めたことがあります。あとで指導講師に調整してもらいましたが暫く頸椎矯正を受けるのも行なうのも怖くなりました。

当療術センターで行なっている施術は、事前に頸椎につながる筋肉・靭帯をよく緩めてから矯正をしていますので、今までに問題をおこしたことはありません、なのでどうぞご安心下さい。

この頸椎の矯正法は、頸椎を伸展させ急激な回旋(首を勢いよく回すこと)を行なうことにより頸椎間の関節内包圧を調整する手技で、本来高齢者や頸椎間の狭い方には行なわないものです。特に頸椎間ヘルニアやストレートネック(頸椎伸展異常)高血圧の人などには危険な行為となります。

正しく矯正を行えば、頸椎間に緩みができコリや痛みが緩和されるため、この矯正を希望される患者さんも多くいます。ただ臨床経験が物をいう技術で、私自身まだまだ難しい手技だと思っています。



このため厚生労働省も以前から通達を出していたのですが、最近未熟なカイロ・整体師が多くなり無理な矯正や筋肉・靭帯の調整無しでこの手技矯正を行い、トラブルも発生しているようです。

このためカイロ・ラテック業界全体の信頼性に係わる問題として、今後は当療術センターでもこの手技を使わないこととします。

カイロ・ラテック療法は、背骨の問題のある箇所（傾きやズレの方向や可動）を探しだしリスト（矯正という意味です）する施術行為のため、手技による矯正は切り離すことはできません。正確には、この矯正をカイロ・ラテック療法ではアジャストメント（調節・調整・修正という意味）という言葉を使っています。そしてアジャストメントの方法は幾つか学習します。

正しいアジャストメントは、身体に無理なく痛みもあまりありません。『バキ』とか『ポッキ』というクラッキング音は骨の関節包内の液体が気化して起こる音なので、鳴らなくても問題はありません。重要なのはアジャストメントの後、問題が解消されたかどうかです。

ところが一部に、このクラッキング音がしないことで矯正がうまく出来ていないと勘違いして再度無理な矯正をする施術家もいます。

手技で行なう技術である以上、日々の経験と努力・訓練がないと出来ないものですし、危険だと思われることはきちんとした施術者であれば事前に患者さんに確認・説明をします。

カイロ・ラテック療法は、神経・骨格・筋肉系のトラブルをケアする療法です。危険なものではありませんので、どうぞご理解下さい。

**むさしの整体療術センター便り 第14  
2009年 01月 発行**

**むさしの整体療術センター**

**電話：042-555-5844  
URL: [www.tcp-musashino.com/](http://www.tcp-musashino.com/)  
携帯: [pokeno.jp/tcp-](http://pokeno.jp/tcp-)**

